

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公開番号】特開2011-46537(P2011-46537A)

【公開日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2010-184635(P2010-184635)

【国際特許分類】

B 6 5 H 29/58 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 29/58 B

G 0 3 G 15/00 5 1 8

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月20日(2013.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材媒体の用紙をバッファするためのシステムであって、

用紙を用紙収集領域に移送する第1の用紙駆動装置と、

前記用紙を処理経路に沿って第1及び第2の方向へと移送するように選択的に動作可能な第2の用紙駆動装置であって、該第2の用紙駆動装置が前記用紙と係合しない開放位置と、該第2の用紙駆動装置が該用紙と係合する閉鎖位置とを含む、前記第2の用紙駆動装置と、

複数の用紙を保持するための保持装置であって、前記第2の用紙駆動装置及び保持装置は協働して前記複数の用紙を集めてスタックにし、該用紙が互いの少なくとも一部に屋根板状に重なるようにする、保持装置と、

前記用紙を前記用紙収集領域から取り出し、該用紙収集領域から出る該用紙がその元の配向に対して反転されるようにするための、該用紙と作動的に連通している取り出し駆動装置と、

を含むことを特徴とするシステム。

【請求項2】

前記第2の用紙駆動装置は、用紙を第2の方向へ前記保持装置内に移送することを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記第2の用紙駆動装置及び前記保持装置は協働して用紙をスタックし、該用紙の前縁が前記処理経路に沿って互いにずれるようにすることを特徴とする請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

協働して用紙を反転させる、第1の用紙経路及び第2の用紙経路と、

前記第2の用紙経路に沿って配置され、用紙を保持及びバッファする用紙収集領域と、

媒体を前記用紙収集領域へと移動させる第1の用紙駆動装置と、

前記第2の用紙経路に沿った第1及び第2の方向へと前記用紙を移動させる第2の用紙駆動装置と、

前記用紙を所定の位置に保持する保持装置と、を含み、

前記第2の用紙駆動装置及び前記保持装置は選択的に動作して、屋根板様式で縁部が互いにずれた用紙スタックを形成することを特徴とする用紙取り扱い装置。

**【請求項5】**

用紙をバッファする方法であって、

第1の用紙を用紙処理ストリームから用紙駆動装置へと移送し、

前記第1の用紙を第1の方向へ用紙収集領域に移送し、

前記第1の用紙を処理経路に沿って第2の方向へ、第1の保持装置の中まで移送し、

前記第1の用紙を前記第1の保持装置により前記用紙収集領域に保持し、

第2の用紙を前記用紙処理ストリームから前記用紙収集領域の中へ、かつ前記用紙駆動装置に向けて移送し、

前記第2の用紙を前記処理経路に沿って前記第2の方向へ、前記第1の保持装置の中まで移送し、

前記第1及び前記第2の用紙を前記用紙収集領域内に保持し、ここで前記第2の用紙は前記第1の用紙の少なくとも一部に重なり、

前記第1及び前記第2の用紙を、一度に1枚ずつ、前記処理経路に沿って、前記用紙収集領域から出して前記用紙処理ストリーム内に戻すように、選択的に移送する、  
ことを含むことを特徴とする方法。